



認定書

国住指第 4298 号
平成 27 年 3 月 30 日

旭化成建材株式会社
代表取締役社長 前田 富弘 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

- 認定番号
QM-0825
- 認定をした構造方法等の名称
両面ポリエステル系樹脂不織布張フェノールフォーム断熱材裏張/せっこうボード
- 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

両面ポリエステル系樹脂不織布張フェノールフォーム断熱材裏張/せっこうボード

2. 形状及び寸法等

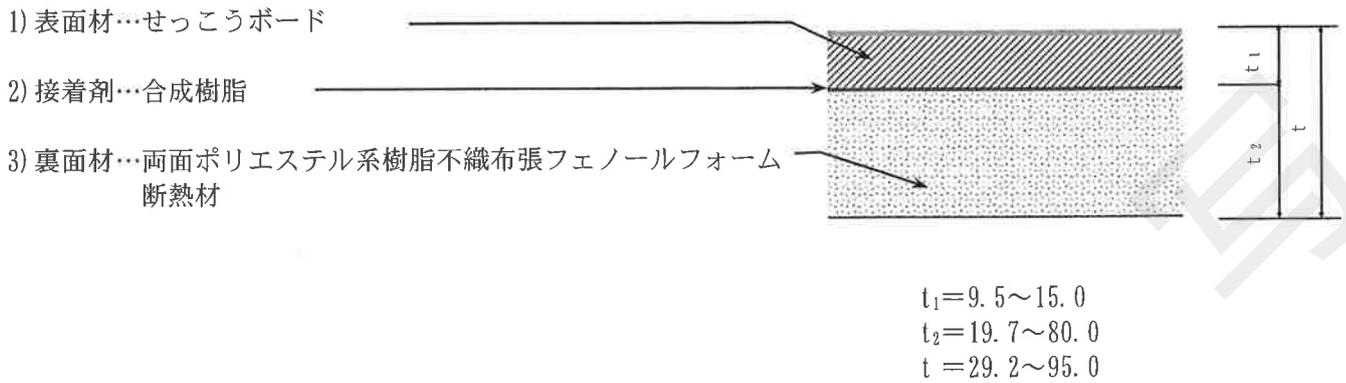
項目	仕様
形状	平板
表面形状	平滑
厚さ(mm)	29.2 \pm 2.9~95.0 \pm 9.5
かさ比重	0.0898 \pm 0.009~0.410 \pm 0.041
質量(kg/m ²)	6.27 \pm 0.63~16.07 \pm 1.61

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面材	せっこうボード (JIS A 6901) ・ 区分：1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) GB-R 2) GB-F ・ 厚さ $9.5 \pm 0.95 \text{mm} \sim 15.0 \pm 1.50 \text{mm}$ ・ 質量 $5.7 \pm 0.6 \text{kg/m}^2 \sim 13.5 \pm 1.4 \text{kg/m}^2$ ・ 比重 $0.60 \pm 0.06 \sim 0.90 \pm 0.09$
接着剤	合成樹脂：1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1) ウレタン系樹脂 …質量 $150 \pm 15.0 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $150 \pm 15 \text{g/m}^2$ 以下) 組成 (質量%) ウレタン系樹脂……………100.0 2) エポキシ系樹脂 …質量 $188 \pm 18.8 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $83 \pm 8.3 \text{g/m}^2$ 以下) 組成 (質量%) { エポキシ系樹脂……………16.0～21.5 無機質充てん材 (炭酸カルシウム等) ……54.2～66.6 ポリアミドアミン ……13.0～18.4 三級アミン……………0.5～2.6 3) 酢酸ビニル系樹脂 …質量 $99 \pm 9.9 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $99 \pm 9.9 \text{g/m}^2$ 以下) 組成 (質量%) { ポリ酢酸ビニル系樹脂……………70.2～80.2 ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート… 8.6～10.6 ポリビニルアルコール ……5.6～9.6 有機質系添加剤 ……5.6～9.6 4) 酢酸ビニル系樹脂 …質量 $80 \pm 8.0 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $80 \pm 8.0 \text{g/m}^2$ 以下) 組成 (質量%) 酢酸ビニル系樹脂……………100.0 5) 酢酸ビニル系樹脂 …質量 $121 \pm 12.1 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $101 \pm 10.1 \text{g/m}^2$ 以下) 組成 (質量%) { エチレン酢酸ビニル系樹脂……………69.0～84.5 イソプロピルアルコール……………4.5～5.5 無機質系充てん材 (カオリン等) ……11.0～23.5 6) 酢酸ビニル系樹脂 …質量 $84 \pm 8.4 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $84 \pm 8.4 \text{g/m}^2$ 以下) 組成 (質量%) { 酢酸ビニル系樹脂……………87.0～98.0 有機質系添加剤……………2.0～13.0 7) 変成シリコーン系樹脂 …質量 $200 \pm 20 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $96 \pm 9.6 \text{g/m}^2$ 以下) 組成 (質量%) { 無機質充てん材 (炭酸カルシウム等) ……50.0～60.0 変成シリコーン……………10.0～20.0 ポリエーテルポリオール……………10.0～20.0 無機質系添加剤……………2.1～11.0 有機質系添加剤……………0.1～1.0

項 目	仕 様															
裏 面 材	<p>両面ポリエステル系樹脂不織布張フェノールフォーム断熱材：</p> <p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 両面ポリエステル系樹脂不織布張フェノールフォーム保温板 (JIS A 9511)</p> <p>2) 両面ポリエステル系樹脂不織布張フェノールフォーム断熱材 (JIS A 9521)</p> <p>…厚さ$19.7_{\pm 2.0}\text{mm} \sim 80.0_{\pm 8.0}\text{mm}$ 質量$571_{\pm 57}\text{g/m}^2 \sim 2371_{\pm 237}\text{g/m}^2$ (有機質量$2371_{\pm 237}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>[1] 表層：1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ポリエステル系樹脂不織布 …厚さ$0.15_{\pm 0.04}\text{mm}$、質量$30_{\pm 3}\text{g/m}^2$ (有機質量$30_{\pm 3}\text{g/m}^2$)</p> <p>組成 (質量%)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">ポリエチレンテレフタレート</td> <td style="padding-right: 10px;">…</td> <td style="text-align: right;">$99_{\pm 1}$</td> </tr> <tr> <td>酸化チタン</td> <td>…</td> <td style="text-align: right;">$0 \sim 1.0$</td> </tr> <tr> <td>有機質系着色剤</td> <td>…</td> <td style="text-align: right;">$0 \sim 1.0$</td> </tr> </table> <p>2) なし</p> <p>構成 [2] 芯材：フェノールフォーム保温板 (基材) またはフェノールフォーム断熱材 (基材)</p> <p>…厚さ$19.7_{\pm 2.0}\text{mm} \sim 79.7_{\pm 8.0}\text{mm}$ 質量$571_{\pm 57}\text{g/m}^2 \sim 2311_{\pm 231}\text{g/m}^2$ (有機質量$2311_{\pm 231}\text{g/m}^2$以下) 比重$0.029_{\pm 0.003}$ 酸素指数$30_{\pm 2}$以上</p> <p>組成 (質量%)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">フェノール樹脂</td> <td style="padding-right: 10px;">…</td> <td style="text-align: right;">100</td> </tr> <tr> <td>発泡剤 (炭化水素系)</td> <td>…</td> <td style="text-align: right;">$5_{\pm 2}$ (外割)</td> </tr> </table> <p>[3] 裏層：[1] 表層と同じ</p>	ポリエチレンテレフタレート	…	$99_{\pm 1}$	酸化チタン	…	$0 \sim 1.0$	有機質系着色剤	…	$0 \sim 1.0$	フェノール樹脂	…	100	発泡剤 (炭化水素系)	…	$5_{\pm 2}$ (外割)
ポリエチレンテレフタレート	…	$99_{\pm 1}$														
酸化チタン	…	$0 \sim 1.0$														
有機質系着色剤	…	$0 \sim 1.0$														
フェノール樹脂	…	100														
発泡剤 (炭化水素系)	…	$5_{\pm 2}$ (外割)														

4. 構造説明図(寸法単位: mm)



5. 注意事項

- 1) 本仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように材料端部及び目地部の処理を適切に行う必要がある。
- 2) 天井に使用する場合に当たっては、火災時に本仕様が落下しないように施工方法等に注意すること。